



わたしたちの日本一美しい村

2013

広報

しらかわ

3月号

No.500

子ども会企画「ふれあい雪上運動会」 雪玉投げて的当てゲーム!



CONTENTS

- 100kmウルトラマラソン開催します... 3
- 観光入込客数について 4
- みんなのスポーツ拡大版 8
- INFORMATION 暮らしの情報 14

2/17(日)白弓スキー場で
雪上運動会が開催。子ども
会で競技を企画し参加者
皆で楽しみました!



the most beautiful
villages
in japan

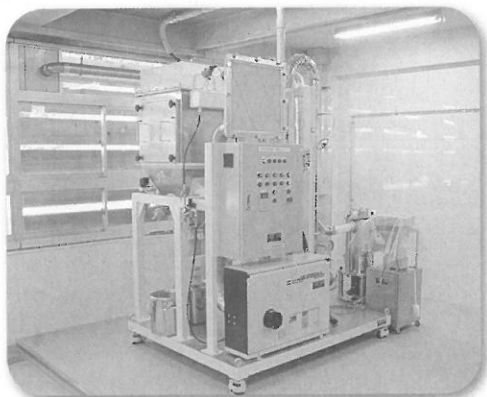
白川郷ブランドづくりへ 「レイク・ルイズ白川村工場」竣工

企業誘致第1号！村内の農産物を活用した製品を製造販売

2月14日(木) 有限会社レイク・ルイズ(海津市)が鳩谷地内の旧白川小学校校舎に、米粉製品や野菜乾燥製品の製造販売等を行う工場を整備し、その完成記念式典が開催されました。国の農山村六次産業化対策事業や県の補助を受けて旧白川小学校内に整備された工場には最新鋭の製粉機の他、餃子の皮製造機や製麺機など様々な機械が設置され、村の農産物を活かした特産品を製造します。村が進めてきた特産品開発や雇用創出のための企業誘致第1号となった有限会社レイク・ルイズ堀田茂樹社長は式典で「白川村で地域に根差した商品を作りたい。企業として利益を求めめるだけでなく地域に貢献できるように皆さんのご協力をお願いしたい」とあいさつ。成原村長は「白川村への進出に喜びもひとしお。今後も地域の新たな活力になることを願うと共に村の発展に大きく貢献されることを期待します」と祝辞を述べました。校舎の面影を色濃く残すこの施設で、地域に親しまれる「白川郷ブランド」目指して取り組んでいただきたいと思います。



完成記念式典であいさつする有限会社レイク・ルイズ堀田社長
式典では村長をはじめ川上県議、高殿県議及び国・県・村関係者
約60名が出席し完成を祝いました



米を製粉する機械「スーパーパウダーミル」



式典後出席者らが工場内を見学
整備された機械で米粉を使用した餃子の皮やラーメンなどを製造したいと説明

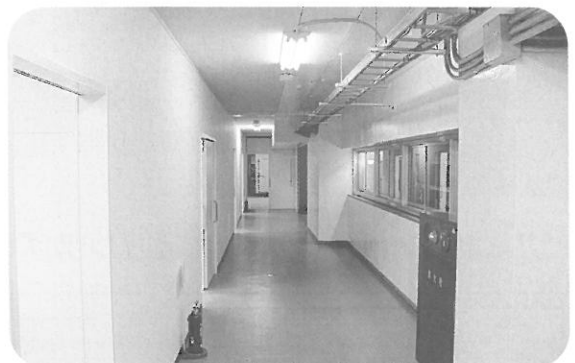
岐阜県市町村振興補助金で整備しました

白川村では、地域の活性化を図る目的に平成24年度岐阜県市町村振興補助金の助成を受けて次の事業を実施しました。

旧白川小学校教室棟改修事業

- ◆構造補強工事、消防法対応他建築工事、電気設備工事等一式

旧白川小学校校舎を活用した企業誘致を進めるため、施設改修整備を実施。この事業によって企業誘致と雇用の創出が図られました。



改修された旧校舎内

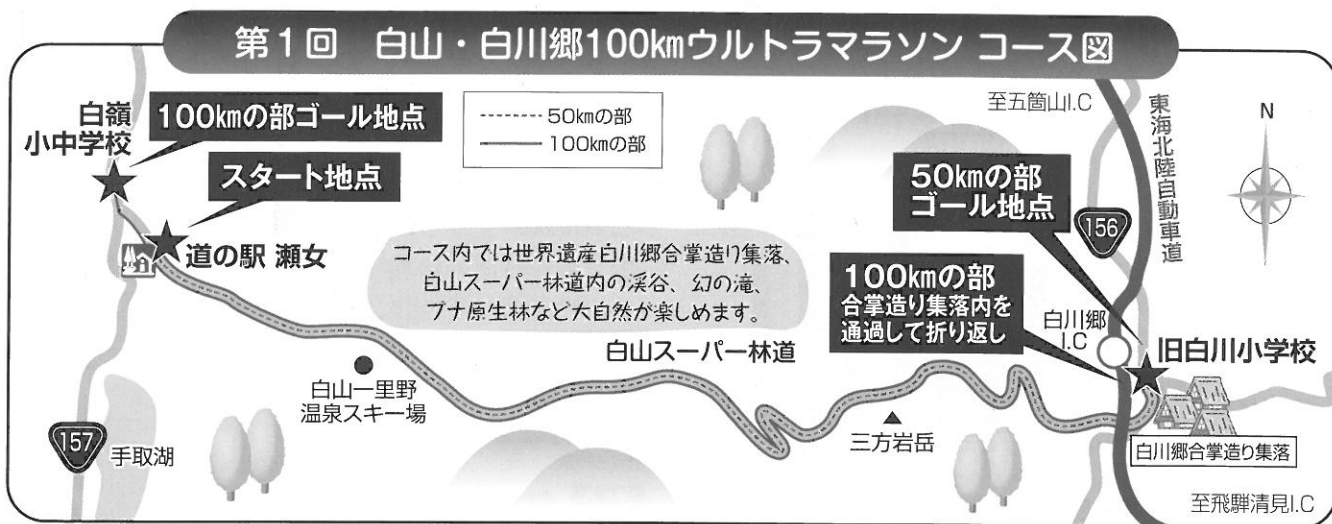
「白山・白川郷100kmウルトラマラソン」 を開催します!

標高差1231m! 白川村と白山市を結ぶ白山スーパー林道の過酷なコースへの挑戦!

2月7日(木) 白川村・白山市・白山林道振興協議会が、白山市民交流センターにおいて、両市村を結ぶ白山スーパー林道と世界遺産白川郷を舞台にした「第1回白山・白川郷100kmウルトラマラソン」を9月29日(日)に開催することを発表しました。白山スーパー林道で開催する初のウルトラマラソンということで、全国各地でプロデュースしている(株)ランナーズ・ウェルネスが企画運営します。種目は、白山市道の駅「瀬女」をスタートし白山スーパー林道内のブナ原生林や合掌集落内を駆け抜け旧白川小学校へゴールする50kmコースと、更に白川村から折り返して白山市白嶺小中学校へゴールする100kmコースを計画。最大標高差1231m・平均斜度6.2%と全国各地で開催されているウルトラマラソンの中でも屈指の過酷なコース設定となっています。参加人数は2,000人を目指し、北陸新幹線金沢開業を控え、環白山の広大なエリアをひとつのステージとした「白山スーパー林道と周辺地域」を全国にアピールすることを目的としています。記者発表で成原村長は「両市村の距離を縮めて共に活性化したい」と話され、広域観光の連携と発展への思いなどについて関係者らに伝えました。



第1回白山・白川郷100kmウルトラマラソン記者発表会で開催について説明する成原村長(写真中央)



- 開催日 9月29日(日) 雨天決行
- 会場 白川村・白山市・白山スーパー林道
- 種目 ◆「100kmの部」… 目標募集人員1,500人 参加料18,000円
◆「50kmの部」……目標募集人員500人 参加料13,000円
- 主催 白山・白川郷100kmウルトラマラソン実行委員会



●問い合わせ先
白川村産業課 TEL 05769-6-1311 白山市観光推進部観光課 TEL 076-274-9544

平成
24年

観光入込客数 約138万人

～前年比5.6%増～

岐阜県では、毎年観光レクリエーション動態調査を実施しています。この調査は、白川村内における主要な観光地点（合掌集落・平瀬温泉・白山スーパー林道など8地点）の入込客数を合計して算出されます。また、宿泊客数については、宿泊業者から個別に報告をいただき、それを基に推計されています。

このたび、平成24年の集計がまとまりましたので、お知らせします。

表1 岐阜県観光レクリエーション動態調査

(単位:千人)

年	18	19	20	21	22	23	24
日帰り	2,074	2,066	2,684	2,504	2,288	1,883	2,001
宿泊	87	91	99	88	91	73	69
計	2,161	2,157	2,783	2,592	2,379	1,956	2,070

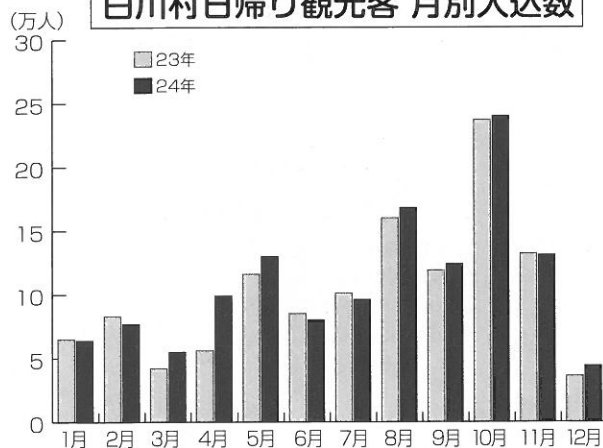
表1は、村から県へ報告した数値ですが、この調査は地点ごとの観光客数を合算するため、重複してカウントされています。よって村では、以前からの数値に伸び率を乗じて、村独自の入込客数（表2・3）を公表しています。

表2 観光客の推移（白川村統計）

(単位:千人)

年	18	19	20	21	22	23	24
日帰り	1,379	1,373	1,762	1,643	1,499	1,233	1,310
宿泊	87	91	99	88	91	73	69
計	1,466	1,464	1,861	1,731	1,590	1,306	1,379

白川村日帰り観光客 月別入込数



平成24年の観光入込客数は、昨年より日帰り客は増加したものの、宿泊客数は減少しています。宿泊者数の減少については、宿泊施設の減少や受入れ人数の縮小などが考えられます。今後も、厳しい現状が予想されることから、村内での消費増加や滞在時間の増加・分散化など、6次産業化による村全体の活性化、更には2年後に迫った北陸新幹線開業を見据え、北陸方面との連携を一層強化するなどの取り組みを進めます。

表3 公共駐車台数(せせらぎ・寺尾・みだしま) (単位:台)

年	23	24	比較	
駐車台数	普通車	108,705	121,263	12,558
	大型車	15,976	16,629	653
計	124,681	137,892	13,211	

表4 外国人入込観光客数

(単位:人)

年	23	24	比較
外国人の入込数(日帰り)	55,609	81,166	25,557
〃 (宿泊)	4,916	7,941	3,025
計	60,525	89,107	28,582

表4の外国人入込観光客数は、前年と比べ約3万人増加しています。特にアジアからの観光客が8割以上を占めており、岐阜県や飛騨3市1村、更には松本・高山・金沢・白川郷誘客協議会などによる海外でのプロモーションの成果等も考えられます。平成23年に観光客数が落ち込んだものの増加傾向にあることから、今後も英語を含めた多言語対応パンフレットの整備、事業者向けに外国人受入れ対応への助成制度を設けるなど、ソフト面での充実を図り、外国人観光客のおもてなしある受け入れ体制についても、更に強化を図ります。

●問い合わせ先 産業課 商工観光係 TEL 6-1311

第27回 世界遺産 白川郷合掌造り集落 ライトアップ入込状況



今回のライトアップ
入込者数は
40,266人

1月19日(土)から開催されました「第27回世界遺産白川郷合掌造り集落ライトアップ」は、2月16日(土)をもって終了しました。村民の皆さんには、荻町集落内への車両制限等、多大なるご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございました。今後ともどうぞよろしくお祈りいたします。

白川郷夜間照明実行委員会

照明時間は17:30~19:30
場所は和田家・明善寺・西側・かん町
・下ゴン附近で行われました

	ライトアップ日	予約バス	指定バス	マイカー	入込者数
1	1月19日(土)	20台	47台	359台	4,497人
2	1月26日(土)	29台	57台	354台	5,242人
3	1月27日(日)	17台	51台	606台	5,278人
4	2月 2日(土)	28台	56台	661台	6,083人
5	2月 3日(日)	21台	48台	525台	5,035人
6	2月 9日(土)	39台	59台	822台	7,126人
7	2月16日(土)	36台	61台	795台	7,005人
合 計		190台	379台	4,122台	40,266人

●問い合わせ先 産業課 商工観光係 TEL 6-1311

消防署だより

平成24年度 全国統一防火標語

「消すまでは 出ない行かない 離れない」



〔文化財防火デー訓練〕

2月28日、文化財防火デーに伴う消防訓練を遠山家民族館(国指定文化財)にて実施しました。

この訓練は貴重な文化財を火災から守ろうと全国で行われており、文化財に恵まれた白川村においても、毎年この時期に行われています。

訓練には消防団員、文化財関係者、駐在所、消防署が参加し、それぞれの役割や連携を確認しました。

世界的にも重要な白川村の文化財を守るため、防火意識を一層高めましょう。



放水を行う消防団員

〔住宅用火災警報器の点検をしましょう〕

点検・手入れ・電池交換のサイクルをお忘れなく!

①定期的に作動点検をしましょう

住宅用火災警報器本体から下がっているひもを引く、あるいはボタンを押すことなどにより、最低限、一年に一回は作動点検をしましょう。

②住宅用火災警報器の手入れをしましょう

住宅用火災警報器にホコリなどが付くと、火災を感じにくくなります。最低限、一年に一回は、乾いた布でふき取りましょう。

③電池の交換をしましょう

住宅用火災警報器に使用されている電池の寿命は一年から十年と製造の時期やメーカーにより異なりますが、製品仕様に定めた電池の寿命を満たさず、短い時期で電池が切れる場合もありますので、ご注意ください。

④本体交換及び廃棄方法
住宅用火災警報器本体もセンサー等の寿命により取り換えが必要で、電池を交換された場合でも、十年を目安にして取り換えをして下さい。また、廃棄の際は本体と電池を別にして、本体は不燃物としてお出し下さい。

2月中の火災と救急 火災 0件 救急 10件 救助 0件

廃校舎活用に向けて「提言書」を村長へ提出

旧学校下検討委員会が2年間の議論を重ね作成！

2月5日(火)旧学校下検討委員会の高桑徹司会長と新谷保雄副会長が役場を訪れ「廃校舎活用による地域の活性化についての提言書」を成原村長へ手渡しました。同委員会は、統合後の旧白川小学校・旧平瀬小学校の校舎、グラウンドや跡地、体育館やプールなど、旧校下の施設再整備や活用について住民意見の集約を行い、総合的なまちづくりを考慮しながら具体的な検討と提案をするため平成23年度に発足しました。旧白川小部会と旧平瀬小部会の2部会に分かれ行われた会議では、地域の想いや活用アイデアが数多く提案され、議論を積み重ねた結果を一つの方向性として導き出しました。今回村長へ手渡された提言書に基づき「廃校舎を活用した活気ある地域づくり」実現に向け、行政や関係機関による取り組みが期待されます。



第48回「はがき版画コンクール」入賞作品の紹介

白川小学校から3作品が特選に選ばれました

1月28日(月)県小中学校長会主催による「はがき版画コンクール」の審査が行われ、県内約1,800人の応募の中から15人の作品が特選に選ばれました。今回は冬の暮らしの一場面が作品のテーマとなっており、白川郷学園からは小学校1年生が応募。小林咲希さん(馬狩)・高島弥子さん(平瀬)・和田汐寿さん(平瀬)の3人が見事特選に選ばれた他、佳作等にも6人が選ばれ児童らの個性豊かな作品が評価されました。3月19日~25日に高山市役所において、特選及び佳作入賞の作品展が開催されますので興味のある方は是非ご覧ください。



小林 咲希(馬狩)

題名

「よいしょ!おもちがつけたよ」



高島 弥子(平瀬)

題名

「あっ!はいるぞ」



和田 汐寿(平瀬)

題名

「はごいた、たのしいな」

佳作入賞

大谷 梓(荻町)
木下 歩紀(飯島)
和田 美柚(鳩谷)

堅田 結愛(荻町)
松下 玲翔(飯島)

入選

杉垣凜太郎(鳩谷)